

## 貸借対照表

2025年3月31日現在

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>流 動 資 産</b>	<b>383,110</b>	<b>流 動 負 債</b>	<b>101,999</b>
現金及び預金	256,883	1年以内返済予定 の長期借入金	20,160
売掛金	105,779	未払金	28,330
貯蔵品	5,405	未払費用	30,568
前払費用	14,181	未払消費税等	19,759
その他	859	未払法人税等	1,709
<b>固 定 資 産</b>	<b>88,388</b>	預り金	1,404
<b>有形固定資産</b>	<b>39,883</b>	その他	69
建物附属設備	3,070	<b>固 定 負 債</b>	<b>29,440</b>
工具器具備品	36,812	長期借入金	29,440
<b>無形固定資産</b>	<b>1,916</b>	<b>負 債 合 計</b>	<b>131,439</b>
電話加入権	1,916	<b>純 資 産 の 部</b>	
<b>投資その他の資産</b>	<b>46,588</b>	<b>株 主 資 本</b>	<b>340,059</b>
敷金保証金	46,578	資本金	97,500
その他	10	利益剰余金	242,559
		利益準備金	6,800
		その他利益剰余金	235,758
		繰越利益剰余金	235,758
		(うち当期純利益)	35,223
		<b>純 資 産 合 計</b>	<b>340,059</b>
<b>資 産 合 計</b>	<b>471,498</b>	<b>負 債 純 資 産 合 計</b>	<b>471,498</b>

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

## 個別注記表

### 1. 重要な会計方針に関する事項

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

市場価格のない株式等…移動平均法による原価法によっております。

#### (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

商品…先入先出法に基づく原価法によっております。

(貸借対照表価額は、収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)

#### (3) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産のうち自社利用のものについては、定率法によっております。ただし、平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備については、定額法によっております。

② 無形固定資産のうち自社利用のソフトウェアについては社内における利用可能期間に基づく定額法によっております。

#### (4) 収益及び費用の認識基準

当社の主な事業であるコンタクトセンターサービス等の役務提供サービスについては、契約に基づきサービスが提供される期間及び実績業務時間に基づいて収益を認識しております。当該サービスは、主として提唱したサービスの時間数に応じて対価を請求するサービス契約であることから、請求する権利を有している金額で収益認識しております。通信費等の立替経費については代理人としての性質が強いと判断されるため、収益に関する原価と相殺の上、純額にて表示しております。